

フィルム・シート加工のプロ集団

- 東日本プラスチック製品加工協同組合 -

東日本プラスチック製品加工協同組合
理事長 時田 周明

今回、塩ビシート・塩ビターポリン材料を加工し、商品化している団体「東日本プラスチック製品加工協同組合」についてご紹介します。

同組合は他の西日本・中日本の2地域のプラスチック製品加工協同組合と日本空気入ビニール製品工業組合の4組合で構成される「日本高周波ビニール組合連合会」に属しており、その連合会の事務局は東日本プラスチック製品加工協同組合が担当しています。

東京の下町を本拠とする「東日本プラスチック製品加工協同組合」は1952年（昭和27年）6月に東京都の認可を受け「東京高周波ビニール工業協同組合」として発足しました。その後、国内経済の変動、消費事情の変化、生産品目の多様化、新素材、新規加工機導入等により発足当時の組合内容の変化に伴い、1981（昭和56）年7月に組合名称を「東日本プラスチック製品加工協同組合」に変更しました。

現在、約60社の組合員、賛助会員で構成されています。組合員は当初は東京が中心でしたが、近年地方（関東、東北地方）へ工場を移転して仕事をしている会員も増えています。加工製品は塩ビ樹脂を材料としたフィルムとターポリンが主材料ですが、昨今の状況変化からポリオレフィン材を使用する製品の加工も行っています。

組合員が生産している主商品群としては、

日用雑貨品 カバー、カーテン 文具、ファイル、ケース バック、袋物
介護用品 健康、スポーツ関連用品 産業用、防災対策品 空気入り製品
玩具、遊具等があります。



文具、手帳、ケース等



バッグ、袋等



防災用水槽等

また、組合員各社は、(1)フィルム・ウェルダ―溶着加工 (2)ターポリン・ウェルダ―溶着加工 (3)熱風溶着加工 (4)超音波加工 (5)縫製加工 (6)成型加工(真空、ブロー) (7)熱プレス加工 (8)裁断加工 (9)印刷箔押加工などの加工技術を駆使し、各種プラスチック材料を国内で製品化しています。

塩ビフィルムは溶着加工がしやすく、印刷も容易でカラフルなプリント柄や凹凸模様も施しやすく、硬さも自由に換えられ、ウェルダ―溶着加工との相性は一番良い素材で、身の回りのいろいろな商品に加工されます。

また、塩ビターポリンは強度を要求する産業分野や大型機密商品には適している強固な素材です。

私達の身近な所で目立つ商品と産業、農業、土木等目立たない所で使用されている2極の製品を供給しています。



高周波ウェルダ―溶着機

当組合も3年後に設立60周年を迎え、組合員各社も創業者より2,3代目にバトンタッチされています。

また、昨年、組合ホームページも時代の流れに対応した内容にリニューアルしました。ホームページには「組合員の加工技術を活かして皆様のご希望に沿った“モノづくり”にご協力いたします」のスローガンを掲げました。

「東日本プラスチック製品加工協同組合」の1社の力は小さいですが組合の看板を御旗に小さい点を面としてオリジナル商品開発に取り組んでいきます。(了)

東日本プラスチック製品加工協同組合

〒111 0052 東京都台東区柳橋2 22 13

TEL : 03 3861 6544 FAX : 03 3861 4283

E-mail : kato@toupla.jp

ホームページ : <http://www.toupla.jp/>